

食品化学新聞

本業で持続可能に貢献

SDGsパートナーシップ賞受賞

キミカ

第4回ジャパンSDGsアワードの表彰企業が21日に公示され、アルギン酸の世界的パイオニアであるキミカが、特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞したことが明らかとなった。同日、菅義偉内閣総理大臣による表彰状授与が行われ、外務省のホームページに受賞者が掲載された。キミカは、今回の受賞者の中で唯一の食品メーカーであり、本業のものづく

りを通じて、持続可能な

社会の実現に貢献している点が評価された。

キミカは、アルギン酸生産事業の中で、SDGsの中の主に4つの目標達成に向けてさまざまな活動を進めている。「1 貧困をなくそう」に向け、アルギン酸原料となる海藻を、継続的に漁民から買い取り、地元の収入を安定させ生活水準の向上に貢献。「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」に向け、環境不可軽減のために、千

葉工場の屋根に888枚の太陽光パネルを敷き詰めた。「12 つくる責任、つかう責任」では、本来腐敗して二酸化炭素に戻るとして漂着海藻を有効利用している。「14 海の豊かさを守ろう」に向け、チリ海藻産業界協会の一員としてさまざまな調査活動に協力し、海洋資源を守るための活動を支援している。

ジャパンSDGsアワードは、持続可能な開発目標の達成に向けてオールジャパンの取り組みを推進するために、優れた取り組みを行う企業・団体等表彰するもので、2017年から実施されている。